



NEWS ECO



シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681

URL <http://www.shibuya-p.com>

気象台は6月4日に東海地方の「梅雨入り」を宣言、平年より4日早いとのこと。過去60年の記録をみると年々梅雨入りが早くなる傾向にあるようです。

雨の日、現場の方々は手元、足元が滑りやすく、晴れ間の覗く日は熱中症対策にと安全管理にいつも以上に気を使うことと思います。また、体調を崩しやすい季節でもあります。睡眠、休憩を十分にとり、雨の季節を乗り切りましょう。

6月は「つゆ」で鬱陶しく、休みの日でも「外出したくない」という人が多かもしれません。でも、6月の雨に、田んぼの早苗や木々の緑は日増しに色濃く、目に鮮やかになり、目を凝らすと道端の草木には数多くの虫たちを見ることができ、自然の息吹を身近に感じる事の出来る季節が「つゆ」です。

緑の景色を閉じ込めた雨粒を葉のうえに輝かせて咲くアジサイ、ハナショウブなど、雨に咲く6月の花を一つの傘に二人して、眺めるのも雨の日ならではの・・・傘を手、雨の季節を楽しむために出かけてみてはいかがでしょうか。

花の色が変化することから花言葉を「移り気」ともいわれるアジサイ。花色が土の酸度によって変化することを知っている方も多いことでしょう。そのメカニズムはアジサイのアントシアニン系色素と地中のアルミニウムの働きによるもので、酸性土壌のアルミニウムは地中によく溶け込み、吸収されやすく、色素と結合して青色に発色するそうです。また、アルカリ性土壌のアルミニウムは溶け込まないために吸収されず、ピンク色に発色するのだそうです。だから、土を酸性にすればアジサイの花色は青に、中性～弱アルカリ性の土壌ではピンクとなります。

花の色はあなた次第ということでしょうか。



＜ISO 掲示板＞

4月18日開催のマネジメントレビュー実施記録には、結論として

- 1) 統合マニュアルの完成度を高め、使いやすいものにする
 - 2) 全社員が新規格・2015年版の理解を深める と記録されています。
- マネジメントレビュー後に新規格説明会を開催しましたが、理解度を深めるため、次回内部監査の監査員を対象に第2回講習会を開催します。
(次回内部監査員以外で受講希望の方は事務局までご連絡ください)

第2回 2015年版 品質・環境マネジメントシステム講習会

開催日	2016年 7月30日 (土)
時間	9時00分 ~ 12時00分
場所	本社会議室
講師	ハタコンサルタント株式会社 三浦 規義

講習内容・・・

- 1) 新規格の主な変更内容
- 2) 4.1 組織及びその状況の理解
「外部及び内部の課題」の捉え方
- 3) 4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解 の考え方
- 4) 6.1 リスク及び機会への取組み
「リスク」「機会」とは
- 5) QMS・EMSの要求事項
- 6) マニュアルの位置づけ
- 7) その他

・・・について講習していただきます

もう一度考えよう！！ 紙・水・電気・ガソリン

皆さんご存知のとおり、日本のエネルギー自給率は約6%と低く、石油や石炭のほとんどを海外からの輸入に頼っています。エネルギー源を多様化し、少しでもエネルギー自給率を上げ、自然保全に有効な太陽光や風力など再生可能エネルギーへの期待が高まっています。

経済産業省は、昨年4月に開催された総合資源エネルギー調査会の小委員会において、2030年の電源構成（電源ミックス）を「再生可能エネルギー22～24%、原子力20～22%、石炭火力26%、液化天然ガス火力27%、石油火力3%」とする原案を提示しました。

現在の電源構成に比べ、再生可能エネルギーを2倍に増やし、化石燃料を35%削減するという原案です。原子力については20%を超える構成比を維持するために、稼働40年を超える老朽化した原子炉の稼働が必要とされています。

政府は、「原発依存度を可能な限り低減し、再生可能エネルギーを最大限導入する」と、繰り返し表明してきました。私たちの生活に欠くことのできない「エネルギー」の低い自給率、原子力への不安を考えると、再生可能エネルギーへの期待は高まるばかりです。

私たちが今できること「節電」は、化石燃料から排出されるCO2を削減することで自然環境保全に寄与し、過度な原子力依存を避けることで、安全・健康へとつながります。

もう一度、身の回りの「節電にチャレンジ！！」しましょう。



家庭で出来る効果的な節電対策

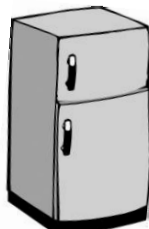
を金額の面から調べて見ました。(資源エネルギー庁家庭の省エネ徹底ガイドより)

古い家電の買い替えによる節電効果(総節電額57,132円)

古い家電を使っている場合は、最新の省エネ家電への買い替えで電気代を大きく節約できます。節電効果が高い家電を買い替えた効果は下記のとおり。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1) 照明器具をLED | 18,480円/年 |
| 2) 15年前のエアコン | 18,370円/年 |
| 3) 10年前の冷蔵庫 | 13,000円/年 |
| 4) 8年以上前の洗濯機 | 7,282円/年 |

年間節電合計額 57,132円/年



夏の節電対策

(エアコンは自動運転)

エアコンの冷房は、室温を設定温度に下げるまでが一番電気を使います。その後は効率の良い運転を行ってくれるため電気代はあまりかかりません。資源エネルギー庁によると、夏最も電力の需要が逼迫するのは日中13時～16時の間で、その中で全体の約6割の電力を消費している家電がエアコン。

6畳の部屋で下記の対策をするとシーズン中の節電額は

- | | |
|-------------------|----------|
| 1) 扇風機・サーキュレーター併用 | 3,000円/夏 |
| 2) 設定温度28℃ | 783円/夏 |
| 3) 2週間に1度のフィルター掃除 | 827円/夏 |

6畳1部屋の節電合計額 4610円/夏